

2020年8月4日

患者様の画像診断を安全に 体位固定具「メドVフィックス」を本格発売

日東工器株式会社(社長 小形明誠)は、全身画像診断・放射線治療用患者体位固定具「メドV フィックス」を8月3日より本格発売します。

内視鏡を使い細い管(カテーテル)を器官内に挿入し、造影剤を注入してX線診断をする際など、画像診断時には、安全のために患者様の体動を抑える必要があります。「メドV フィックス」は、ビーズを充填したマット内の空気を真空ポンプで除圧することによりマットを硬化させ、体型に合わせて患者様の体位を固定します。

リニア駆動フリーピストン方式の真空ポンプの採用や軽量で扱いやすいマットの採用など、当社が長年培ってきたMEDO※ブランドの医療機器の技術を応用し、「メドV フィックス」を開発しました。当製品の使用によって、医療事故の低減、医療従事者の業務環境の改善に貢献します。

標準価格は980,000円(税別)。総販売元はセンチュリーメディカル(株)。

※医療機器「MEDO」: 約40年間の歴史を持つ日東工器の医療機器ブランド。エアマッサージ器「メドマー」シリーズや携帯型吸引器「キュータム」を開発・販売しています。

[特長]

1. 安全・確実

マット形状は患者様の体型に合わせて確実・安全に保持、固定され安定した診断が行えます。また、真空ポンプはマットを適切な真空圧で保持するために自動で動作/停止を繰り返します。

2. 透視画像に影響しないベルト

上半身をしっかりと覆いながらもX線の透視画像に映り難いベルト素材を採用。

3. 操作が簡単

接続部には迅速流体継手「キューブカプラ®」を使用し、マットとポンプを簡単に接続・分離が可能。スイッチひとつの簡単操作で固定を保持します。



[仕様]

製品名	メドVフィックス
型式	MVF-940
定格電圧	AC100 V
周波数	50/60 Hz
到達真空度	- 53.3 kPa (- 400 mmHg)
定格時間	連続
寸法	本体: 208 × 263 × 210 mm マット: 1400 × 1670 × 20 mm 接続ホース: 2700 mm
質量	本体: 8.0 kg マット: 3.0 kg 接続ホース: 0.3 kg
ホース長さ	3.0 m

一般名称: 全身画像診断・放射線治療用患者体位固定具

届出番号: 13B2X90009000002